

■ 講演討論会 開催予告 ■
「関東大震災と、以後 100 年間の火災科学
将来の都市型複合災害に向けた課題を抽出する」

公益社団法人 日本火災学会
学術委員会

令和 2023 年 9 月 1 日は、関東大震災から 100 年です。避難や消防を含む火災科学は、関東大震災を契機として、その後 100 年間で大きく進展しました。しかし、関東大震災の教訓のうち、将来の災害に活用できる対策の整理は、充分進んでいるとは言えません。

そこで本講演討論会では、火災科学の 100 年間の系譜を俯瞰的に整理するとともに、市民や消防機関の災害対応から、今後の都市型災害との類似点や課題を抽出して、将来の災害対策を展望します。

会員の方はもとより、学生、市民の方々、消防、防災、建築、都市、安全に携わるの方々、損害保険業界などからも多数のご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。また、組織内の研修を兼ねてのご参加も可能です。日本火災学会ならではの内容をお届けいたします。

講演討論会 オンライン開催のお知らせ

今年度も講演討論会をオンライン開催することにいたしました。世界中から多数のご参加をいただきますようお願い申し上げます。参加するためには事前申込が必要になります。
本会ホームページ (<http://www.jafse.org/>) からお申し込みください。

—記—

主 題 ：「関東大震災と、以後 100 年間の火災科学 将来の都市型複合災害に向けた課題を抽出する」	13:20～13:40 基調報告 2 「横浜市の関東大震災の大火と避難にかかる課題」
開催日 ：2023 年 1 月 20 日（金） 13：00～16：30	高梨成子（防災&情報研究所）
会 場 ：オンライン開催 Teams ウェビナーにて開催します。	13:40～14:00 講演 1 「市街地火災の現象把握と危険性評価」
参加費 ：1,500 円 参加者皆様に、事前にテキストの電子ファイルを配布いたします。	岩見達也(国土技術政策総合研究所) (休憩 14:00～14:15)
申 込 ：事前参加申込（1 月 13 日（金）13:00 まで） 本会ホームページからお申し込みください。 ※ <u>当日申込はできません。必ず事前参加申込をしてください。</u> ※ <u>申込時に登録いただくメールアドレスに参加方法などの情報をお送りします。</u>	14:15～14:35 講演 2 「市街地火災避難研究の 100 年」 廣井悠(東京大学)
支払方法 ：コンビニ払、ペイジー払 その他の支払方法をご希望の方は事務局にお問い合わせください。	14:35～14:55 講演 3 「消防防災の 100 年間 ～ この間の発展と成果、そして課題」 関澤愛(東京理科大学) (休憩 14:55～15:10)
討論方法 ：視聴者の講演への質疑は、チャットにて記入し、司会が読み上げて議論する方法とします。	討 論 15:10～16:25 15:10～15:25 基調報告 3 「社会情勢の変化と技術革新を見据えた震災対策の在り方 ～火災予防審議会での検討から～」 小林純也(東京消防庁震災対策課)
【プログラム】	15:25～16:25 討論
開会挨拶 13:00～13:05 学術委員長 佐野友紀	「関東大震災から 100 年の総括と今後 100 年を展望した火災科学の方向性」
講 演 13:05～15:10 司会 北後明彦	
13:05～13:10 趣旨説明 北後明彦(神戸大学)	司会 東京大学 廣井悠
13:10～13:20 基調報告 1 「関東大震災の概要(震源、被害全体像等)」 西田幸夫(元埼玉大学)	閉会挨拶 16:25～16:30 学術副委員長 中村祐二